

# 中日会報

公益社団法人中部日本書道会  
編集事務局編集部  
〒450-0002 名古屋市  
中村区名駅二丁目45-19  
桑山ビル8階C号室  
電話 (583) 19000番  
FAX (583) 1910番  
http://www.cn-sho.or.jp  
info@cn-sho.or.jp  
印刷 株式会社 荒川印刷

## 理事長あいさつ



理事長 鬼頭翔雲

今年の夏から秋にかけてはまさに「想定外」の自然の猛威を実感致しました。夏の猛暑はもとより、八月の広島市の土砂災害や、九月二十七日の御嶽山の噴火による災害などご関係の皆様におかれましては衷心よりお見舞い申し上げます。  
さて、会員の皆様には平素、格別なご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

今年度も半ばを過ぎましたのでここで前半の事業内容のご報告と、後半の事業計画(予定)をご案内したいと思っております。  
今年度前半の最大のイベントは、創立八十周年記念事業「いつの世も懸命・楽しいっ書」でした。また、第六十四回中日書道展(記念展)も盛況裡に閉幕することが出来ました。

八十周年記念事業イベントでは特に「あなたも書家気分」(八十年の歩み・ダイジェストDVD)の展覧会会場での陳列・放映、更には本会理事による第一会場(県美ギャラリー)での「席上揮毫会」に多くの一般の方々にご来場者いただき好評でした。展覧会入場者も例年より多く、盛況でした。このような成果を収めることができましたのも会員の皆様のご支援、ご協力の賜です。改めて厚く御礼申し上げます。

次に今年度後半の事業計画(予定)についてご案内いたします。

まずは八月に予定していた「国内史跡探訪研修旅行」は台風十一号の到来で急遽取り止めることになりました。しかしその後、「日」を改めて研修旅行を」とのお声もあり、晩秋の神戸・淡路・鳴門を中心に訪ねることとしました。(十一月二十三日(日)～二十四日(月) 一泊二日)

続いて十月からの事業に関する日程は以下の通りです。(個別の事業内容に関してはそれぞれにご案内いたします)

### 第二十六回 書道教育研修講座

十月十三日(祝)

名古屋国際センター五階

第十八回 公開講座 十一月三十日(日)

電気文化会館 イベントホール五階

## 目次

- 1 理事長あいさつ
- 2 チャリティー愛の募金  
第十八回公開講座(案内)  
ボウリング大会参加者募集
- 3 第六十六回毎日書道展入賞者

- 4 第三十一回読売書法展入賞者
- 6 第二十三回書展(案内)
- 7 第六十五回中日書きぞめ展作品募集
- 9 支部だより(上半期)

### 第二十三回 書展

十一月二十六日(水)～三十日(日)

電気文化会館五階東・西ギャラリー

### 福利厚生事業ボウリング大会

十二月七日(日) 午後三時

星ヶ丘ボウル

### チャリティー愛の募金活動

十二月一日(月) まで。皆様ご協力を

お願いします。

### 第六十五回記念中日書きぞめ展

三月二十一日(土)～二十二日(日)

名古屋・栄ナディアパーク・アトリウム

また本年十二月には、来年の第六十五回中日書道展(記念展)の要項も決定致しますし、「理事会」も開催予定です。来年二月には「評議員会」の開催も予定しています。会員皆様のご期待に添えられるよう、事務局一丸となって「前向き」「全力」を合言葉に企画立案をまいります。各種事業につきましても改善・改革は進めておりますものの、充分とはいえません。是非会員皆様のご叡智をお借りしたいと存じます。

清新で若々しい中日書道会を目指し、更なる努力をしてまいりたいと考えております。今後とも何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 改組新第一回 日展

## 審査員に本会理事長 鬼頭翔雲氏がご就任



# 「2014年 チャリティー愛の募金」について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、本会の福祉事業に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では毎年年末に「しあわせ薄い人々に愛の手を」をスローガンとして「チャリティー愛の募金」を行っております。

台風による災害、異常気象による各地での集中豪雨の被害、御嶽山噴火による予期せぬ出来事、そして未曾有の東日本大震災から3年半以上経過した今も、現地では疲弊を余儀なくされている方々もたくさんおられます。

つきましては、本会役員の先生方並びに会員の皆様には広く献金をお願いし、中日新聞社会事業団をはじめ各所への寄託をして参りたいと思います。何卒主旨ご理解の上、

下記の通りご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この募金の締め切りを、平成26年12月1日(月)といたします。送付してあります振込用紙にてお願いいたします。

尚、献金の経過並びにご芳名は会報第175号(H.27.1.1号)でご報告をさせていただきます。

敬 具

理事長 鬼頭 翔雲  
渉外宣伝部長 岡野 楠亭

### ご献金にお願いの基準

副会長、常任顧問、理事、監事、顧問	10,000円
参与、評議員	3,000円
正会員	1,000円

## 平成26年度 第18回 書の魅力 公開講座のご案内

会員及び一般市民を対象に、中部日本書道会を代表する講師と、現代墨研究家が書の魅力について講演します。

- 日 時 平成26年11月30日(日) 午後1時～(受付 午後12時30分)
- 会 場 電気文化会館 イベントホール(5階) 名古屋市中区栄 2-2-5
- 会 費 無 料(ただしテキスト代・資料代として2,000円集めさせていただきます。)
- 対 象 一般市民(15才以上)で原則として2講座とも聴講できる方  
定員150名(先着順)
- 締 切 11月10日(月)

主催：公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社 後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

### 11月30日(日)

受付 12:30

開会行事 13:00

第一講座 13:15～14:25

墨運堂会長 松井重憲先生

演 題

「墨の精神は膠である」

第二講座 14:45～15:35

顧問 木戸竹葉先生

演 題

「古文書」を楽しむ

—「三くだり半」にみる女と男の縁切り—

閉会行事 15:35 修了証授与

### 会員交流

# ボウリング大会

12月7日(日) 15:00

懇談会 競技終了後  
会 場 星ヶ丘ボウル  
会 費 3,000円

※競技費、懇談費用を含む

申込〆切日 11月14日(金)  
本部又は厚生部小島瑞柳まで。

会員外の方も参加出来ますので、ご友人等おさそい合わせください。多数のご参加をお待ちしております。(厚生部)

第六十六回 毎日書道展入賞者 (本会会員) (関係分)



会員賞 (漢字部) 丸山 聖峰



会員賞 (近代詩文書部) 廣澤 凌舟



会員賞 (近代詩文書部) 安藤 清香

會員賞

〈漢字部〉

丸山 聖峰

〈近代詩文書部〉

安藤 清香

廣澤 凌舟

毎日賞

〈漢字部Ⅱ類〉

佐藤 晨麗

深津 洋子

〈近代詩文書部〉

小宇佐久美

鈴木 功子

秀作賞

〈漢字部Ⅰ類〉

安藤 美泉

鈴木 香葉

〈漢字部Ⅱ類〉

青木 榮俊

丹羽 彩霞

福谷 紅華

谷利 紫鳳

和佐田祐翠

中村 香葉

原田 圭竹

森 政子

〈近代詩文書部〉

秋松 秀玲

浅井 明奈

内山 紫泉

加納 玉珠

鈴木 美月

堀田 恵香

村松 紫雲

山田 鶴玲

梅村 鉄明

佳作賞

〈漢字部Ⅰ類〉

長田 裕華

杉江 花城

高橋 白羊

中井 港星

〈漢字部Ⅱ類〉

片桐千賀子

川口 花園

河村 紫夙

杉本 扇鈴

鈴木 容華

牧野 絵美

〈近代詩文書部〉

榎本 康代

大橋 幽徑

梶田 春陽

小嶋 真海

田中 雅子

寺澤 景星

中野 寿美

福岡 優慧

堀井 恭子

前田千登世

柳瀬 緑風

山路 秋芳

山田 小恵

〈大字書部〉

稲垣 竹徑

鵜飼 冠山

武野 桂華

U23毎日賞

〈漢字部Ⅱ類〉

長谷川 結

U23新鋭賞

〈近代詩文書部〉

田中 菜摘

U23奨励賞

〈近代詩文書部〉

鬼石 健司

第三十一回 読売書法展入賞者 (本会会員) (関係分)

君王輕透趣羽神臨察基白雲隨玉  
趾青霞雜桂旗地留訪五藥願步佇  
三芝於焉仰鑣駕歲暮以為期 武田 晶庭

読売新聞社賞(漢字) 武田 晶庭

一斗典の海舟橋一橋飛雪入遠山也舟中夜  
遠舟一影舟影東影木(可)如物讓讓吟日下舟  
泉尚之舟舟也舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

読売新聞社賞(漢字) 林 春翠



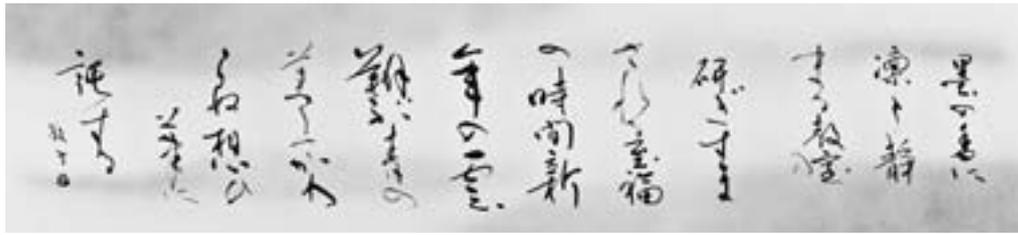
読売新聞社賞(篆刻) 鎌倉 雅代

か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香  
か な 久 徳 蓬 香

読売新聞社賞(かな) 久徳 蓬香

か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園  
か な 松 野 良 園

読売新聞社賞(かな) 松野 良園



読売新聞社賞（調和体） 荒木 敬子



読売新聞社賞（調和体） 岩田 緑汀

読売新聞社賞

（漢字）

武田 晶庭  
林 春翠

（かな）

久徳 蓬香  
松野 良園

（篆刻）

鎌倉 雅代  
荒木 敬子

（調和体）

岩田 緑汀

読売奨励賞

（漢字）

小野 蹊泉  
佐藤 華泉

（かな）

杉浦 仁美  
多和田墨濤

（篆刻）

松井 秀峰  
石田 範子

（調和体）

大崎 水愁  
佐々木宏潤  
清水 佳園  
濱條美由紀

読売俊英賞

（漢字）

秋田 桃泉  
伊藤 新川

（かな）

今井 翔山  
尾崎 翠香

（篆刻）

下村 汀柳  
中条 彰山

（調和体）

藤井 晴鳳  
小島 瑞月

（かな）

野村 清涼  
正田 香有

（調和体）

村田 華泉  
伊藤 静雅

（篆刻）

岡本 桃香  
原賀 瑞芳

（かな）

本多 蘭香  
堀田 廣泉

（調和体）

馬場 美風  
波多野香葉

（篆刻）

長尾 秀麗  
永井 天鱗

秀逸

（漢字）

板倉 恵子  
上野 明美

（かな）

竹内 紫峰  
成瀬 孝子

（篆刻）

石原 清至  
稲垣 華扇

（調和体）

関根 玉翠  
堀 清溪  
毛利 暁草  
米津 美華

特選

（漢字）

石井 瑞鶴  
石本 麗水

（かな）

大村 小華  
尾崎 涼舟

（篆刻）

奥田 蘇水  
尾寄 紫光

（調和体）

今井 夏虹  
榎本 朋子

（かな）

遠藤 紫聖  
山田 智加

（篆刻）

望月 希彩  
森本 夏溪

（調和体）

山添 智加  
山田 杏華

（かな）

米津 香柳  
伊藤 春翠

（篆刻）

浅野 京雅  
伊藤 春翠

（調和体）

山本 正良  
山崎 美翠

田中 青穂

出川 祥泉

勅使河原惠翠  
富田 華妍

豊島 積流

中沢 志香

夏目 美沙

西川 佳江

西田 光華

野田 春華

野々垣清城

濱屋 大樹

林 天翔

菱田 萬峰

藤澤 暎秀

穂積 爽風

松井 秀麗

松岡 蘭毫

美希 昌風

向山 青泉

望月 希彩

森本 夏溪

山田 智加

山田 杏華

米津 香柳

伊藤 治美芳

伊藤 弥生

稲垣 紅春

稲吉 欣香

大嶋由美子

大原 律苑

鏡 千裕  
加藤 桂子  
山崎 富泉  
山本 香川

佐藤 典子

柴田 直子

柴田美由紀  
杉江かよ子

鈴木 妙子

永島 育子

野田千津子

平野 仁子

福井 芳子

前田奈津子

水野美保子

村瀬 江園

山田 美園

安藤 朱游

岩村 蹊月

上前 総子

高島 濤翠

瀧上 紀翠

山本 正良

浅野 京雅

伊藤 春翠

小笠原青華

河村 美翠

小島 白汀

近藤 峻岳

戸松 香苑

中川 瑞風

南原 宏風

星野 蘭雪

松崎 朱實

村瀬 彩光

山崎 富泉  
山本 香川

平成26年度 公益社団法人 中部日本書道会  
**第23回 壽書展**

70才以上の方を対象にご長寿をお祝いし、益々のご健勝を祈念して開催致します。  
 ご高覧下さい。

**会場：**電気文化会館 (5階 東・西ギャラリー)  
 名古屋市中区栄2-2-5

**会期：**平成26年11月26日(水)～11月30日(日)  
 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)

**主催：**公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社

**後援：**愛知県教育委員会・岐阜県教育委員会・三重県教育委員会・名古屋市教育委員会

**第18回 書の魅力 公開講座**

日時 平成26年11月30日(日) 午後1時 会場 電気文化会館5階 イベントホール

◆出品者名

- |          |       |    |     |     |    |    |    |    |     |     |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |     |     |    |
|----------|-------|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|
| 堀場       | 藤井    | 早川 | 中村  | 寺田  | 津田 | 田中 | 高橋 | 佐野 | 佐々木 | 近藤  | 権田 | 倉重 | 木戸  | 神谷 | 落合 | 今井 | 安藤 | 平松 | 中林 | 土屋 | 座馬 | 後藤 | 黒野 | 黒田  | 安藤 | 樽本 | 海部 |    |    |    |     |     |    |
| 関南       | 養堂    | 泰山 | 秀峰  | 樹風  | 秋月 | 白雲 | 秀箭 | 桃子 | 木島  | 素光  | 穂園 | 拜石 | 竹葉  | 美舟 | 深淵 | 仙童 | 秀川 | 紫雲 | 露風 | 陽山 | 井邨 | 汀鶯 | 清宇 | 玄夏  | 滴水 | 樹邨 | 俊樹 |    |    |    |     |     |    |
| 伊納       | 石原    | 石田 | 石川  | 伊佐治 | 池田 | 飯沼 | 安藤 | 赤堀 | 青木  | 渡辺  | 渡辺 | 山内 | 築瀬  | 服部 | 服部 | 西堀 | 中川 | 梅  | 高木 | 鈴木 | 杉江 | 柴田 | 佐藤 | 小林  | 小嶋 | 久米 | 久原 | 河村 | 亀井 | 磯和 | 三神  |     |    |
| 玉英       | 春香    | 松濤 | 玄風  | 成子  | 天光 | 朝鶴 | 正風 | 芳翠 | 石鼓  | 曉鶴  | 望城 | 舟香 | 祥石  | 松香 | 少苑 | 京童 | 春泉 | 曾水 | 瑞象 | 秀城 | 秋水 | 東海 | 静葩 | 和晃  | 義山 | 佳子 | 翠園 | 幡川 | 鴻東 | 榮軒 |     |     |    |
| 中村       | 中川    | 竹内 | 田尾  | 鈴木  | 杉浦 | 庄田 | 下郷 | 志水 | 志水  | 酒瀬川 | 近藤 | 児島 | 國府谷 | 幸村 | 栗木 | 工藤 | 清田 | 清  | 鬼頭 | 河合 | 加藤 | 加藤 | 桂山 | 小野田 | 大平 | 大塚 | 大上 | 江馬 | 榎本 | 梅村 | 鶴飼  | 岩本  | 伊吹 |
| 清園       | 貴舟    | 春翠 | 穂昂  | 静苑  | 筠心 | 華川 | 豊園 | 春汀 | 玉華  | 雲洋  | 泰碩 | 溪雪 | 妙仔  | 溪雪 | 琴聲 | 茜邑 | 麦舟 | 芳園 | 城山 | 桂舟 | 碧涛 | 松雲 | 瀉江 | 雨仙  | 窓月 | 憧花 | 翠峰 | 照乃 | 鶯谷 | 能勢 | 祥龍  | 代美  |    |
| 岡田       | 大野    | 大谷 | 岩瀬  | 今村  | 稲垣 | 伊藤 | 伊藤 | 石倉 | 飯田  | 足立  | 浅井 | 縣  | 青山  | 吉井 | 山川 | 山川 | 保田 | 森  | 桃井 | 村瀬 | 三輪 | 三輪 | 本田 | 堀場  | 藤原 | 深田 | 久田 | 林  | 則武 | 野中 | 丹羽  | 丹羽  |    |
| 昭尚       | 瞬玲    | 素子 | 八恵子 | 禎邨  | 泗郷 | 光華 | 一兆 | 桜舟 | 寿泉  | 耕堂  | 清泉 | 欣司 | 碧雲  | 子雪 | 昌泉 | 杉徑 | 翠溪 | 京華 | 祥谷 | 竹風 | 盈夫 | 晴風 | 秀岳 | 錦城  | 郁代 | 芳香 | 宏道 | 大鳳 | 穹  | 曾川 | 裕   | 常見  |    |
| 森        | 三輪    | 美馬 | 光澤  | 水野  | 松田 | 松尾 | 前越 | 廣瀬 | 平松  | 伴   | 浜島 | 羽場 | 信川  | 中保 | 中野 | 谷口 | 谷川 | 竹内 | 宗林 | 柴田 | 志賀 | 佐野 | 佐藤 | 佐々木 | 榊原 | 坂井 | 齋藤 | 小林 | 後藤 | 熊谷 | 加藤  | 春日井 | 寛  |
| 一葉       | 成男    | 王山 | 閑石  | 紅翠  | 穂輝 | 滔石 | 秀鳳 | 玉樹 | 圭鳳  | 晋水  | 緑風 | 春蕙 | 芳枝  | 大心 | 秋石 | 春園 | 景仙 | 芳華 | 翠徑 | 清翠 | 雪子 | 李暉 | 錦龍 | 悠園  | 虹輝 | 翠苑 | 稚泉 | 慧鏡 | 弦謠 | 千冬 | 井清苑 | 芳桂  |    |
| 10月24日現在 | (順不同) |    |     | 山田  | 山口 | 安井 | 服部 | 中村 | 永田  | 谷岡  | 高木 | 杉浦 | 久保  | 神谷 | 加藤 | 加藤 | 伊藤 | 安藤 | 渡邊 | 野村 | 西浦 | 田辺 | 奥村 | 岡田  | 市田 | 飯田 | 渡辺 | 山田 | 山田 | 山口 |     |     |    |
|          |       |    |     | 富月  | 紅陽 | 包子 | 明  | 肇  | 正毅  | 千信  | 賀代 | 華甫 | 恵春  | 嘉子 | 芳枝 | 紫公 | 司郎 | 喜泉 | 翠芳 | 繁子 | 春陽 | 泰子 | 文子 | 正舟  | 清岳 | 玉蘭 | 紫江 | 祥恵 | 鶴玲 | 鈴代 |     |     |    |

# 第65回記念 中日書きぞめ展作品募集

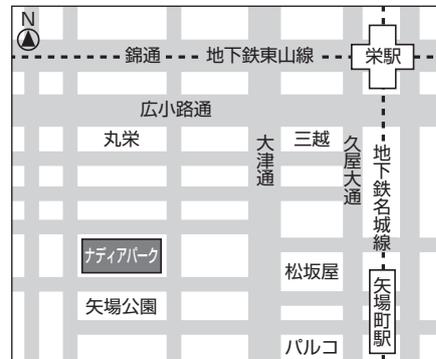
◆会期 平成27年3月21日(土・祝)・22日(日)

21日(土・祝) 午後1時～午後6時

22日(日) 午前10時～午後6時

◆会場 ナディアパーク2F アトリウム

名古屋市中区栄3丁目18番1号



◆授賞式 平成27年3月22日(日) 午後2時

ナディアパーク3F デザインホール

◆褒賞 文部科学大臣賞、愛知・岐阜・三重各県知事賞、名古屋市長賞、愛知・岐阜・三重各県教育委員会賞、名古屋市教育委員会賞、中日書道会賞(昇格)、中日新聞社賞、東海テレビ放送賞、中部日本放送賞(以上申請中)、記念賞、名誉会長賞(名称変更)、理事長賞、推薦(新規)、奨励賞、特選、準特選、秀逸、佳作、入選

※会場には奨励賞以上の作品を陳列します。

◆記念展事業 今回は、記念展事業として中日展の会場にも上位入賞作品(85点予定)を陳列します。  
(平成27年6月17日(水)～21日(日) 愛知県美術館 ギャラリー 8階)

◆資格 幼年・小学生・中学生・高校生

◆課題 自由 参考

幼年	うたのち	小4	自然の美・生命の力	中2	友好を深める・地球大交流
小1	みらい・みどり	小5	夢の大地・世界交流	中3	新技術開発・友好提携
小2	ふれあい・心のとも	小6	地域開発・友情の輪	高校	墨の祭典・環境の美化
小3	生きる力・町の美化	中1	未来の夢・美しい自然		

◆出品要項 詳しい出品要項が中日書道会本部にありますのでお問い合わせ下さい。

◆作品 ○用紙は、半切1/4(ハツ切) ※高校生は半切縦も可 ○作品は、表装しないこと。  
○書体は、幼・小=楷書、中=楷書又は行書、高校生=自由  
○作品には、学年・氏名を必ず明記すること。

◆出品料 一点につき400円(個人出品者は賞品、賞状の郵送料として300円を加算。)

◆搬入締切 平成27年1月15日(木) 午前10時～午後3時  
(送付される場合は14日(水) 中部日本書道会本部必着をお願いします。)

◆搬入場所 公益社団法人 中部日本書道会  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル8階C号室  
担当 教育部長 後藤啓太  
TEL <052> 583-1900 FAX <052> 583-1910

◆取扱所 伊藤大林堂、永楽堂、應天堂、魁盛堂、伽藍、菊屋商店、高誠堂、小松表具店、柴田紙店、四宝堂、新泉堂、青雲堂、青柳堂、荘文堂、大玄堂、大林堂、長楽斎筆舗、名古屋キョー和、名古屋ホウコドウ、平野筆墨堂、松屋紙店

主催 公益社団法人 中部日本書道会、中日新聞社

後援 愛知県・愛知県教育委員会、岐阜県・岐阜県教育委員会、三重県・三重県教育委員会、名古屋市・名古屋市教育委員会、東海テレビ放送、中部日本放送(申請中)

# 「書写・書道教育 充実のための署名」 文部科学大臣に提出

書写・書道教育充実のための署名活動にご協力いただき有難うございました。

平成二十六年九月二十四日、九四四、四八三名の署名を持って文部科学大臣下村博文氏に手交されました。

本会としては、一〇、二六二名の署名をいただきました。

事務局長 伊藤昌石



平成26年9月24日 下村博文文部科学大臣に署名を手交

## 褒賞

本会顧問寺田樹風氏が永年の書道功績により、豊橋文化賞をご受賞されました。

心よりお祝い申し上げます。

## 第26回書道教育研修会 延期のご案内

平成26年10月13日(月・祝)に予定しておりました第26回書道教育研修会は台風19号接近の為、日時を変更して実施します。参加予定の方には個別に案内を送付します。

変更実施日 平成26年12月23日(火・祝)

下記に実施予定内容を再度掲載致します。

担当 教育部長 後藤啓太

◆会場 名古屋国際センター5階 第1会議室 第3・4・5会議室  
〒450-0001 名古屋市中村区那古野1丁目47-1 電話<052>581-5679(代)

◆受付 9:25~9:45 (A・Bコース共)

◆内容 9:45~ 開会式 9:55~10:25 書道講話 中部日本書道会副理事長 伊藤昌石先生

Aコース 第1会議室		Bコース 第3、4、5会議室	
10:30~12:20	漢字 —魅力ある線に— 中部日本書道会 梶山盛涛先生	10:30~12:20	かな —美しいかな— 中部日本書道会 塚田俊可先生
12:30~13:30	昼食	12:30~13:30	昼食
13:30~15:20	近代詩文書 —線とリズム— 中部日本書道会 後藤啓太先生	13:30~15:20	少字数 —線質の変化と作品感— 中部日本書道会 水谷海越先生
15:45~16:00	閉会式 修了証書授与	15:45~16:00	閉会式 修了証書授与

- Aコース・Bコースのどちらかを選んで申し込んでいただいています。
  - 必ず午前、午後共受講して下さい。
  - 実技講習ですので用一式を持参して下さい。
- 但、基本的文具、教材は会場でも販売する予定です。  
本年は大玄堂 (TEL 058-271-2662) が出店します。

## 国内史跡探訪研修 延期のご案内

8月10日(日)・11日(月)に実施予定の国内史跡探訪研修は、台風11号の影響で11月23日(日)・24日(月・祝)に延期されました。(企画部)

## 新入会員紹介 (七・八・九月分)

- 本部 武山 春陽
- 一宮支部 安藤 虹峰
- 北勢支部 今村 博嗣

## 社中展・個展のご案内

○第二十回記念

大知会系 興文会書展

(併催 第二十一回全国公募展)

代表 伊藤昌石

会期 十一月五日(水)~九日(日)

会場 電気文化会館五階

「東西ギャラリー」

本会会員による書展のご案内を会報及びHPにてさせていただきます。会報には案内原稿を、HPには展覧会案内用ハガキを本部迄お送り下さい。次号(二月号)は二月中旬から翌年五月中旬までの展覧会を掲載する予定です。編集部

## 訃報

心より哀悼の意を表しご報告申し上げます。(厚生部)

○7月28日

準会員 岡田錦風氏

○8月14日

理事 川崎尚麗氏

ご尊父 鬼頭清嶽様

○8月24日

正会員 伊藤文子氏

○8月27日

評議員 鈴木美都子氏

○9月11日

顧問 牛田五龍氏

○10月1日

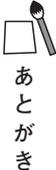
正会員 林 幽華氏

○平成25年9月6日

正会員 青山喜春氏

93才

92才



あとがき

・第一七四号中日会報をお届けいたします。

・本号は例年八月に実施している史跡探訪研修、十月実施の書道教育研修会が二つの台風の影響で延期せざるを得なくなりました。この二件については次号に掲載いたします。

・御嶽山の突然の噴火等、予期せぬ災害が続く昨今です。とにかく平穏でありたい……。そう願うのは私ばかりではないと思います。(編集部)

ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp>

メールアドレス [info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)

# 支部だより (平成二十六年度) 上半期

## 一宮支部

### ●二〇一四 一宮総合美術展

会 期 六月五日(木)～八日(日)  
 会 場 一宮スポーツ文化センター  
 出品者 支部員四十二名  
 主 催 一宮市教育委員会  
 一宮市芸術文化協会

一宮市芸術文化協会に所属する書道・日本画・洋画・彫刻立体・デザイン・工芸・写真の、各団体から推薦された作家による、一宮市が誇る総合美術展です。

一宮支部からは四十二名が出品、全部門総勢百五十二名による大展覧会で、多くの方々に楽しくご観覧いただきました。書部門の代表理事を務める当支部は、出品だけでなく、陳列・会場当番等の協力も行いました。



一宮総合美術展

### ●第二十二回選抜作品展

会 期 七月十二日(土)～十三日(日)  
 会 場 一宮スポーツ文化センター  
 出品者 百八名

「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」に協賛し、一宮書道連盟主催学生展の併催展で、一宮支部として後援を行いました。

この「選抜作品展」は、支部役員を中心に学生展参加指導者も出品し、「読めて、楽しくユニークな小作品展」をモットーとしています。

学生展と同会場にて開催されるため、参加者も多く盛況裡に終了しました。



選 抜 展

## 半田支部

### ●第五十回記念学童書道展

会 期 七月十九日(土)～二十日(日)  
 会 場 半田市福祉文化会館  
 出品数 二、五四一点



第50回記念学童書道展

今年度は、五十回記念展となり、いろいろな企画を事務局員の皆さんと考え楽しい学童展となりました。中学三年生の賞をいただいた子供たちには、自分の作品の入った「しおり」を贈呈。来場者の千人目の子供に記念品。そして会場内には、すこし遅れた七夕を飾って子供らに短冊に願いごとを書かせ笹竹に吊し華やかに盛り上がりました。「五十年たっても会場にくる子供たちの目の輝きは変わりませんね」と一人ご婦人が私に話しかけてくれました。又ある人は「先生、私も昔、学童展に出品しました。」五十年の歴史を感じました。

### ●寿色紙贈呈

寄贈日 八月二十二日(金)  
 寄贈先 半田市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町  
 寄贈枚数 七〇〇枚

年々高齢者が増え、当支部からの色紙贈呈を心待ちされています方が多くみえます。

### ●第四十八回支部展

会 期 八月三十日(土)～三十一日(日)  
 会 場 半田市福祉文化会館  
 出品数 一四三点

今年も本部より鬼頭理事長、松永清石、関根玉振、伊藤昌石副理事長の賛助出品を賜り、加えて中国徐州より六点の友好出品をいただき格調高い会場となりました。又若年者の出品もあり、その作品の完成度の高さに感激しました。今年では来場者を増やすために牛乳で字を書くというイベントを行ない大変好評でした。来年以降もいろいろなイベントを考え来場者の増員に努めます。



支部展会場風景

西三河支部

●支部研究会

日時 三月三十日(日)  
会場 安城市文化センター  
参加者 一六六名

支部研究会は会員の皆さんが日頃の作品を持ち寄って、支部の先生方に見ていただき、熱心なご指導によりパワーをもらいました。皆さん新たな発見をされ有意義の研究会でした。



支部研究会



●第四十七回支部学生書道展

日時 七月十一日(金)～十三日(日)  
会場 岡崎市美術館  
出品数 六、二八八点(内高校生四六三点)

世界遺産になった富士山にちなんで「山」をテーマに、幼年から高校生まで多くの作品が出ました。厳しい審査の結果、県知事賞はじめ、多くの優秀作品が展示されました。力作品を大切に扱い事務局員総力で一連の作業を行い展覧会を迎え、沢山の入場者があり大盛況で終わることが出来ました。今後とも将来の書家の増加に貢献できるよう頑張ります。



審査風景



東三河支部

●東三河支部展

会期 七月一日(火)～六日(日)  
会場 豊橋市美術館第三展示室  
出品数 一二六六点

中日書道会が創立八十周年を迎えた今年、東三河支部は第三十八回展を開催することになりました。本部から鬼頭翔雲理事長、松永清石副理事長、関根玉振副理事長、伊藤昌石副理事長の玉作を賛助出品していただき、会場に花を添えていただきました。

●講演会  
日時 七月五日(土) 午後三時半  
会場 ウェステージ豊橋二階  
講師 東海テレビ放送専務取締役 河合信明氏



展覧会風景

演題 「テレビ営業から発信する テレビの世界」  
講師の河合信明さんは豊川市のご出身で、小中高と東三河で過ごされました。東海テレビに入社後は、四日市、豊橋、東京、大阪、本社と転勤を重ねられ、営業一筋に邁進されてきました。現在は本社にて専務取締役として活躍されています。本講演では、「知るとテレビがもっと楽



講演会

は何か、テレビ営業の知られざる世界、東海テレビ歴代の主な番組等について、様々な体験談をまじえて熱く語っていただきました。講演の途中出される賞品付きクイズに、会場も盛り上がり楽しい講演会になりました。

●会員集会

日時 七月五日(土) 午後五時半  
会場 ウェステージ豊橋五階  
参加者 八十二名

本部から伊藤昌石副理事長、大池青峯経理部長のご臨席を賜り、伊藤副理事長からは、中日書道会創立八十周年記念行事に関するお話や、東三河支部展への温かい励ましのご祝辞をいただきました。

引き続き会員集会議事に入り、平成二十五年事業報告並びに二十六年事業計画、平成二十五年収支決算報告及び二十六年収支予算案について報告がありました。

続いて第六十四回中日書道展入賞者が紹介され、会員一同拍手で受賞を讃えました。

その後、大池経理部長による乾杯の御発声で交流会が始まり、盛大で和やかな会員集会になりました。



会員集会風景

濃飛支部

●濃飛支部展

会 期 七月四日(金)～六日(日)  
会 場 下呂市交流会館  
出品点数 四十九点  
入場者数 二百四十名余  
特に地元下呂市の方の入場が多く、熱心に参観されていた様子でした。



濃飛支部展

●支部集会・講演会・交流会

期 日 七月六日(日)  
支部集会  
会 場 下呂市交流会館

本部より松永清石先生、佐野翠峯先生をお迎えし、集会が開かれました。  
二十五年事業報告、収支決算報告がなされ、続いて二十六年事業計画案、二十六年度予算案が提案され、審議の結果全員一致で了承、可決されました。  
講演会

会 場 下呂市交流会館  
講 師 臨濟宗妙心寺派 温泉寺住職 岩浅宏観様

演 題 『書と禅』

— 心のおもむくままに —

禅(仏道)の修業と書道・茶道・華道等は共通するものがある。精神世界を表現することである。千の利休は『茶道とは一を習つて十を知り十からかえる元の一』と言っている。余分なものを一切とり払い無の境地になることである。『攝心』と座禅では言っているが、第三番目の目、耳で表現、生活していくことを教えられた。心を正し心の中のまなこ、三つめの耳で聞くこと等優しく丁寧に話されました。余分なものを取り払いありのままに生きることを教えられました。  
宏観住職様は若くて修業を積まれ知識も豊富でとても素敵な方でした。  
交流会  
会 場 下呂市バストウル  
交流会は場所を移動して行なわれまし  
た。佐野翠峯先生の乾杯のあと、齊藤千秋さんの詩舞、今井恭子さんの手品等を披露して戴き素敵なおもてなしの料理に舌つづみを打ちながら皆さんとの楽しい交流に時間の経つのも忘れる程でした。



講習会

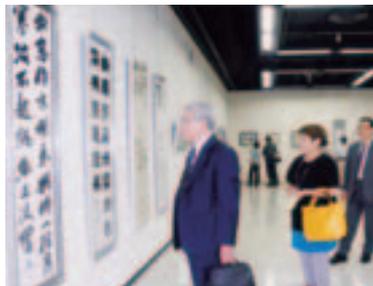
北勢支部

●支部展

会 期 七月十二日(土)～十四日(月)  
会 場 四日市市文化会館第一展示室  
出品数 八十五点

本部からは鬼頭翔雲理事長、松永清石、関根玉振、伊藤昌石副理事長らの特別出品を頂き、昨年と同じ広い会場での展示となりました。ゆつたりとした空間で多様な作品の数々を鑑賞して頂いたことと思います。

又、五月に開催された中部日本書道会の創立八十周年イベントのDVD(本部からお借りして)を放映して多くの関心を集めていました。



支部展会場風景

●支部集会・講演会

支部集会  
日 時 七月十三日(日)

会 場 四日市市文化会館第三ホール  
本部から青木清濤総務部長、工藤俊朴編集部長をお迎えし、太田借風名誉顧問のご参加もいただいて、平成二十五年事業報告、収支決算報告、二十六年事業計画案、予算案の提案、承認となりました。

(講演会・懇親会)

集会后、同会場で中部日本書道会顧問の安藤秀川先生によるご講演「書業六十年を振り返って」が始まりました。

初めての日展入選時のことから、三十年代で青山杉雨先生、村上三島先生に感銘を受けたこと、海外での書活動など、エピソードを交えてお話し下さいました。  
そして最後には揮毫が行われました。ゆつたりとした運筆、力強さと懐の広さを感じさせる書に、参加者は引き込まれるように魅了された様子でした。

四日市ケーブルテレビの取材があり、支部展とあわせて後日放送されました。

講演会后、プラトンホテルに移動して安藤先生を囲んでの懇談会が行われました。

伊藤伸亭 記



講演会



揮毫中の安藤秀川顧問

中南勢支部

●研修旅行

期 日 六月二十九日(日)  
参加者 四十名  
『明治村を訪ねて』

未来の手紙「はあとふるレター」への思いを胸に十年後の家族や大切な人への想いを綴ろうとバスは走る。到着すると早速地元のおいしい料理で力をつけての執筆活動に励む。どの顔も信じられない位の真剣さだ。投函先は宇治山田郵便局舎。天気は最高で回りの木々や花の香を乗せて風が来る。どの施設も建物も自然の風景に引き出され地元の人々も今日は『良い日だ。』と自慢げだ。周遊バスの中での解説はユーモアもあり。多国籍の人達も微笑している。明治村の整備・建物の修繕の費用としての寄附一口、五百円も参加者多数が協力した。記念品として建物カードとピンバッジを頂いた。バスの中は往復とも和気藹藹で、それぞれの差し入れに心温まり、帰宅時はいつものように土産の一つとなる。  
帰宅を指す津や松阪には運転手さんの手際よさで予定通りの着。  
その後、グループに分かれ、帰宅組と夜の町組へと。とても充実した研修の旅でした。



明治村

●支部集会

日 時 十月十二日(日) 午後三時  
会 場 武蔵野(松阪市愛宕町)  
参加者 五十名

本部より大池青岑先生、上小倉積山先生をお迎えし、二十六年度事業中間報告、会計中間報告がされた。

●講演会

講 師 本居宣長記念館館長  
吉田悦之先生  
演 題 本居宣長の日常と書

宣長は昼は今でいう在宅医療の医者であり、夜に古典の研究をし、七十二年の生涯を記録に残しているという。それは全てにたいへん読みやすい字で残っているそうです。



講演聴講メンバー

家計簿をつけ、七千から八千通の手紙を書き、和歌を詠み、夜は古事記伝の研究をし、頭のスイッチの切り換えにすぐれた人であったようです。モットーは継続なり。そして合理的な時間の使い方は今の私達のお手本です。もともと「お話が伺いたい」と皆を思わせる中で講演も終了。本日の参加者は、きつと記念館に足を運ぶことでしよう。

文責 中村翠雲

岐阜支部

●支部集会

日 時 六月八日(日)  
会 場 岐阜会館  
出席者 六十六名

本部より、副理事長伊藤昌石先生、総務部長青木清滄先生のご臨席を賜り、平成二十六年年度支部集会を開催しました。

平成二十五年度の事業、収支決算報告及び二十六年事業計画(案)並びに収支予算案について審議され滞りなく承認されました。



支部集会

●講演会・交流会

講 師 進誠堂社長・国指定伝統工芸士  
伊藤亀堂先生  
演 題 墨色の全てとメカニズム  
参加者 七十名

講師の伊藤亀堂先生は、国指定伝統工芸品に指定されている鈴鹿墨を昔ながらの用具、原材料を用い、製法や技術を受け継ぎ千二百年続く鈴鹿墨を守り、新しいことにも挑戦されておられます。



講演会

鈴鹿墨の特徴、墨の材料(膠、煤、香料)等、その製

作工程、そして墨の選び方、磨り方、保管等々奥深い墨の全てについてご講演を賜りました。続いて、本部の先生方、講師の先生を囲んで和気藹藹と総勢五十数名が親睦を図り有意義な交流会となりました。

●岐阜支部会員展

会 期 九月十二日(金)～十四日(日)  
会 場 岐阜市民会館  
参加者 三百八名

今年度は、第二十回展と云う節目の支部展でもあり、本部より、鬼頭翔雲理事長、松永清石、関根玉振、伊藤昌石副理事長先生方にご無理を申し上げ半折の玉作を特別出品して戴き、会場に花を添えて戴きました。又、若年層の作品も多く色彩豊かな若さ溢れた作品群と、出品者一同が、第二十回展にふさわしい力作揃いの作品に見応えを感じた支部展でした。



支部会員展

